

# 西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）オオサカサンギョウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）フジイ ヨウイチロウ
大阪産業大学	経済学部	藤井 陽一朗 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）ケイザイジョシ	フリガナ）イナガキ ヨウカ	6	無
経済女子	稲垣 友香		

研究テーマ（発表タイトル）
ゆとり世代の生活危機！！

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要（目的・狙いなど）

西日本インカレに出場することで、今までの大学の講義やゼミで学んだ経済学の知識の理解度を知る為、出場することになりました。また、様々なグループの発表を聞くことで考え方、自分たちのグループに不足していることなども学びたいと思いました。今回の研究テーマは、大学生に身近な問題である奨学金について調べてみることにしました。近年問題視されている奨学金返済困難者、なぜそのようなことが起こるのか実際に考えてみることにしました。

## 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

国内の調査結果だけでなく、経済協力開発機構（OECD）に加盟している 35 カ国の奨学金の制度や取り組みも比較してみました。そこから日本では行われていない取り組みを知ることによって何が必要なのか参考にしながら研究を進めていくことにしました。

## 3. 研究テーマの課題

奨学金返済困難者が年々増加しています。原因として家計の所得や大学の都市部集中建設の問題なども考えられますが、自分たちのグループでは奨学金を借りるにあたっての知識不足が奨学金返済困難者を増加させているのではないかと思います。現在、奨学金を借りるためには説明を受け、審査をするだけで多くの人が借りることができます。その為、今の制度を見直し、奨学金を借りているということを自身できちんと理解することが課題であると考えました。

## 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

奨学金制度の仕組みや内容を全員が一度で理解することは難しいと思います。その為、入学前から奨学金説明会を定期的に設けるなど事前から意識付けをすることが一つの解決策だと考えました。それ以外にも、大学での奨学金説明会の回数を増やすことが必要と考えられ、その際に親子での参加を義務付ける説明会を行うことで親子共々、奨学金を借りているという意識を高めることができると考えました。その結果、奨学金返済困難者減少へつながると考えました。

## 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

大阪産業大学経済学部の1年生～4年生を対象に、456人の生徒にアンケート調査を行いました。アンケート内容は、奨学金についての意識調査、大学での過ごし方などです。大阪産業大学の学生と全国のデータを比較することにより、自身の大学の問題点を見つけることができました。目立つのは、全国的に大学生の自主学習の時間は短く、およそ6割の学生が1週間当たり5時間未満の学習時間です。大阪産業大学の学習時間の平均はおよそ9割の学生が5時間未満の学習時間でした。このように調査していくことで改善点を見つけていきました。

## 6. 結果や今後の取り組み

今回の研究を通じて、大学の授業内容の改善もありますが、大阪産業大学では奨学金を借りているという意識の低さを感じました。取り組みとして大学内で奨学金の説明会を今以上に詳しい内容にすることや奨学金についての相談窓口のスペースをすることでより理解が深まり、奨学金返済困難者の減少につながると思います。

## 7. 参考文献

堤 未果（2010）岩波新書『ルポ貧困大国アメリカⅡ』

経済協力開発機構（OECD）

[http://www.microsofttranslator.com/bv.aspx?ref=SERP&br=ro&mkt=jaJP&dl=ja&lp=EN\\_JA&a=http%3a%2f%2fwww.oecd.org%2f](http://www.microsofttranslator.com/bv.aspx?ref=SERP&br=ro&mkt=jaJP&dl=ja&lp=EN_JA&a=http%3a%2f%2fwww.oecd.org%2f)

日本学生支援機構

<http://www.jasso.go.jp/>

文部科学省

<http://www.mext.go.jp/>

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/>

## 西日本インカレ事務局への連絡事項

### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りません。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。